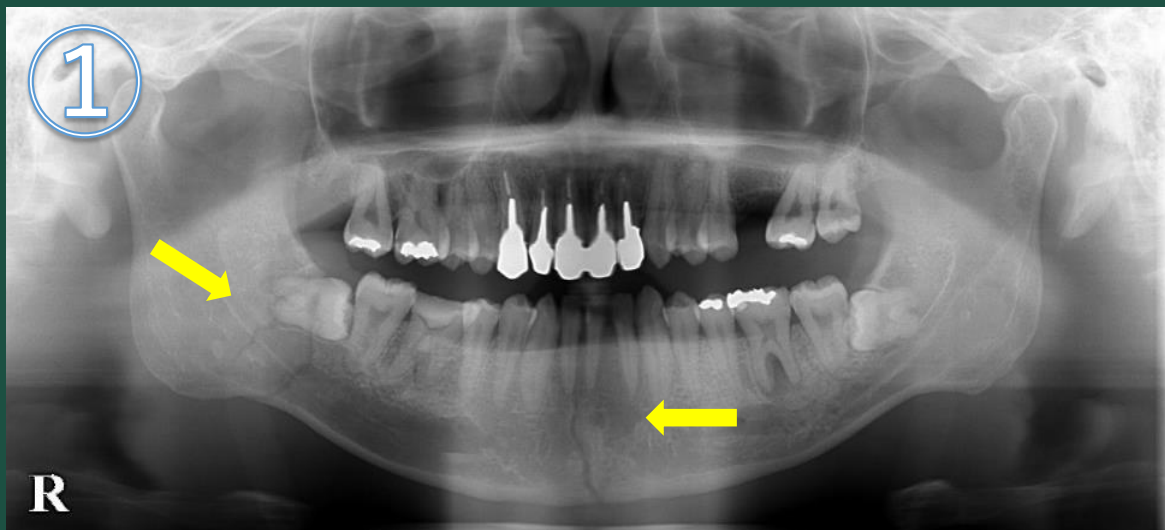
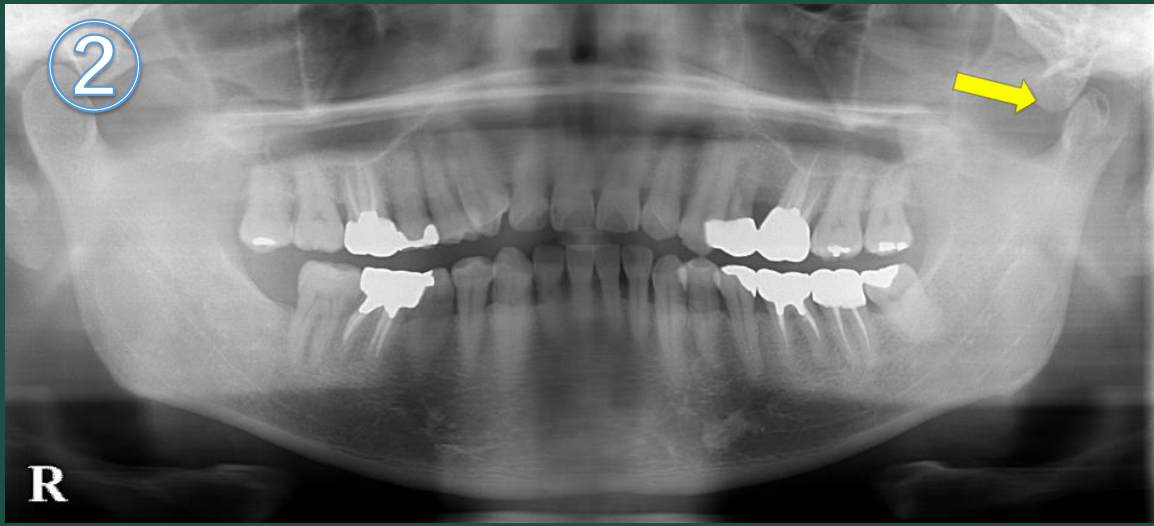


あごの痛み

<骨折>

スポーツや交通事故などで顎に強い力が働いたときに骨折を起こします。症状としては、口が開かなくなったり、かみ合わせがズレたりします。その他、顔面の腫れや出血、皮膚のしびれなどを引き起こすことがあります。①の写真のように下顎の骨に大きくひびが入っている場合には、早期に手術による骨片の整復（骨を元に戻す）、顎間固定（上下の顎をワイヤーもしくはゴムで縛って安静を保つこと）が必要です。②の写真は左の顎関節部が折れており、この場合は手術で戻す必要はなく、顎間固定のみで対応します。いずれにしても、顔面全体のCT撮影が必須で、入院となる可能性があるため、大きな病院と連携をします。





<脱臼>

顎の脱臼というものは、あくびや外傷により顎が正常な位置から逸脱して元に戻らなくなり、口が閉じられないといった症状が出ます。高齢者では骨が薄くなったり筋肉・靭帯が弛緩することで習慣性に外れやすくなる方もおられます。外れた顎はご自分ですぐに戻らないときは、無理に戻そうとせずすぐに来院してください。ほとんどの場合は指で的確に押さえることによって元に戻ります。

<顎関節症>

顎関節はだいたい両耳の前にあります。そこがカクカク、ジャリジャリと音が鳴ったりすることはないと思います。しかし、食事時の痛みや口が開けられないなどの症状が出てきた場合は顎関節症の診断となり、治療の適応となります。顎関節症には、筋肉によるもの、関節自体によるもの、関節円板（膝の半月板みたいなクッションのようなもの）によるもの、骨の変形によるもの、精神的なものなどがあります。診察、レントゲンにて診断ができれば、治療に移ります。治療法は主にマッサージやマウスピース、投薬によるものとなります。